

花ちゃん、オー君、フッタ博士のわくわくドキドキ冒険4

国立市立国立第七小学校

平成28年9月21日 NO.46 (346)

花ちゃん 「フッタ博士！きのうは、ポテトチップスのお話、ありがとうございました。」

オー君 「とってもよくわかりました。」



そんなに喜んでもらって、とてもうれしいね。
それでは、きょうはペットボトルのお話だよ。

花ちゃん 「どんなお話かな。わくわくドキドキします。ねー！オー君。」

オー君 「そうですね。それでは、フッタ博士よろしくお願ひします。」

フッタ博士 「ここにへこんでしまったペットボトルがあるんだ（校長室前に展示中）。

これは、5年生が行った八ヶ岳野外体験教室の閉校式の見せたものなんだ。
あの時、空っぽのペットボトルにふたをただけだったね。それが、国立に
帰ってきた時には、ペしゃんこになってしまったんだ。」

オー君 「どうしてペしゃんこになってしまったのですか。」

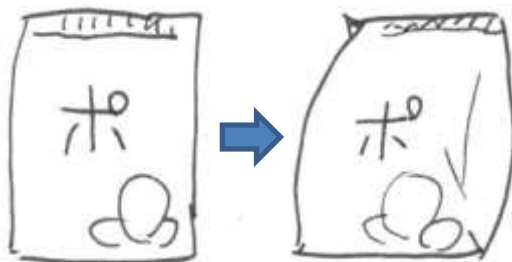
フッタ博士 「それはね、ポテトチップスとまったくぎゃくということなんだ。下の絵をよ
く見るといいよ。」

ポテトチップス

ペットボトル

気圧ふつう→気圧低い

気圧低い→気圧ふつう



花ちゃん 「え！説明というのは、それだけですか。」

フッタ博士 「そうだよ。でも、それだけではつまらないから、目の前でペットボトルが
ペしゃんこになる実験、つまり、大気圧の実験を試してみよう。」

オー君 「わーい。おもしろそうだ。どうやるのですか。何を^{なに}用意^{ようい}するのですか。」

フッタ博士 「ペットボトルとお湯^ゆだけでいいよ。音を^{おと}たててつづれるから見^みものだよ。」

花ちゃん 「ねえねえ、フッタ博士。どうやるのですか。」

フッタ博士 「まず、お湯^ゆをちょっとポットから^{そそ}注^いぎ入れ、すぐに^{ふた}ふたをするんだ。」

オー君 「それから、それから？」

フッタ博士 「水蒸^{すいじょうき}気でペットボトルがパンパンに^ふくれるんだ。」

花ちゃん 「それから、それから？」

フッタ博士 「それを^{かくにん}確認してから^{ふた}ふたをゆるめると、シュッと音^{おと}がして、内部^{ないぶ}の空^{くうき}気が水蒸^{すいじょうき}気といっしょに^お追^だい出^だされるといことなんです。」

オー君 「すると、すると？」

フッタ博士 「ここからが^{だいじ}大事な^しんだけど、すぐに^{ふた}ふたを^ききつ^く閉^めな^おす^んだ。」

花ちゃん 「すると、すると？」

フッタ博士 「ペットボトル内^{ない}は、水蒸^{すいじょうき}気でいっぱいになっているけど、やがて、外^{そと}の^{きおん}気温^{きおん}で水蒸^{すいじょうき}気が^ひ冷^みや^され、水^{みず}にも^どる。すると、中^{なか}の^{くうき}空^{くうき}気の^{あつりよく}圧^さ力が^さ下^さがり、外^{そと}の^{くうき}空^{くうき}気の^{あつりよく}圧^さ力が^{たか}高^{たか}くなるので、^{つづ}つづ^されるんだよ。」

オー君 「へえー。おもしろそうな^{じっけん}実験^{じっけん}ですね。やってみよっと！」

フッタ博士 「火^ひは^{つか}使^{つか}わないけど、熱^{ねつとう}湯^{つか}を使うので^き気^きをつ^けよう。おうちの人^{ひと}とやるといいね。それから、ペットボトルは^{たいねつせい}耐^{たい}熱^{ねつ}性^{せい}のあるものを^{しやう}使用^{しやう}しましょう。」

花ちゃん 「ペットボトルというのは、いろいろな^{かたち}形^{かたち}がありますね。」

フッタ博士 「そのとおり。六角^{ろっかく}タイプ^{かく}のものは、角^{かく}ばっている部分^{ぶぶん}が骨^{ほね}のような^{やくわり}役割^{やくわり}をはたすので、丸^{まる}いタイプとは^{かた}つづれ^{かた}方がちがうかもね。」

オー君 「いろいろなタイプや^{おお}大きさ^{おお}でやってみるのもいいね。」

フッタ博士 「少し^{すこ}ずつつづれるのもあれば、突然^{とつぜん}バコン！と^{おお}大きな音^{おと}をたてるものもあるから、『^{じげん}時^じ限^{げん}バクダン』ではなく、『^{じげん}時^じ限^{げん}バコン』というんだよ。」

ポテトチップスとペットボトルのお話^{はなし}をした^{ほんとう}本当^{ほんとう}の理由^{りゆう}は・・・^{たか}高^{やま}い山^{のぼ}に登^{のぼ}ると、^ま気^{あつ}圧^{へん}の^か変^か化^うを受けるのは、ポテトチップスの^{ふくろ}袋^{ふくろ}だけでは^{ありません}ありません。子供^{こども}達^{たち}も^{ふだん}普段^{ふだん}と^{ちが}違^{ちが}った^{ひょうこう}標^{たか}高^{ところ}の^い高^い所^いに行^いって、^{からだ}体^{なか}の中^{ちやうし}の^{くる}調^{くる}子^{くる}も^狂狂^ううもの^{です}です。そんな^{こうざん}高^{はく}山^{はく}で2泊^{じゅうぶん}も^{からだ}する^まのですから、^{じゅうぶん}十^{じゅうぶん}分に^{からだ}体^まに^き気^まをつ^けま^しよう…という^{はなし}お話^{はなし}をした^かか^った^から^なん^です。

お詫^わび…昨日^{きのう}『飯^い盛^{もり}山^{やま}』の^{ふり}ふりが^なで、『^いい^{もり}も^りや^ま』は^まちが^いい。正^{ただ}しくは『^めし^{もり}も^りや^ま』で^した。お許^{ゆる}し^{くだ}さい！